

進路指導室へようこそ

令和5年度 MJ 進路通信 第26号

前橋女子高校進路指導部

令和5年11月17日(金)発行

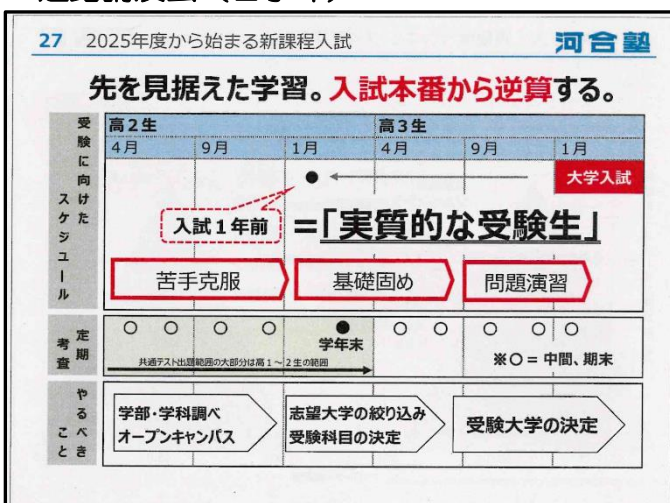
■秋の学年進路行事

・企業研究所訪問(1学年)



1学年では東京方面に企業・研究所訪問に行ってきました。3年ぶりに行われたこの進路行事は、従来のバスツアー形式から、公共交通機関を使った現地集合現地解散方式に代わり、慣れない東京の電車で戸惑いながらスリル溢れる研修旅行となりました。さまざまな企業のほか、実際に大学に通っている前女OGの先輩にも協力いただき、大学構内のキャンパスツアーに参加できた班もありました。緊張のなかにも都会の風を感じて楽しんできた生徒が多かったようです。

・進路講演会(2学年)



2学年では15日に進路講演会を行いました。河合塾から講師の先生をお招きし、「現役合格に向けて今やるべきこと」と題して約1時間の講演をいただきました。受験に向けては常に「チャンスがある」と前向きな気持ちを持ち続けることが大事、と激励の言葉をつたえつつ、

そのために今から取り組むべきことについて具体的にアドバイスをいただきました。例年修学旅行を終えたこのタイミングが受験に向けての本格的なスタートをきる時期と言われます。受験は先手必勝。早めのスタートで全国のライバルの一步先を走ろう。

・合格だるま目入れ式(3学年)



先週の学年集会時に3年生の受験必勝を期して、合格だるまの目入れ式を行いました。進路指導主事からの激励挨拶に続き、各クラス代表による決意表明が行われました。各クラス毎に趣向を凝らしたパフォーマンスを見せてくれましたが、受験に向けて一致団結していこう、そんな雰囲気を感じさせる集会でした。

なお、この合格だるまは、今後校長先生をはじめ3学年を応援する多くの先生方のメッセージを身にまとい、当面3階棟間通路に置かれます(3年生の皆さんは是非決意を一筆書き込んでみてください)。また、3年生の共通テストの受験会場が前女になった場合は、このだるまは職員室南窓付近に置かれ、中庭越しに受験生を見守ってくれる予定です。

■来週から期末考査が始まります

24日(金)から期末考査が始まります。休日をはさみ4日間の長丁場になりますが、1年間の取り組みの集大成として、しっかり準備をして臨みましょう。3年生にとってはこれが最後の定期考査です。インフルエンザ等も流行っています。気候も急に冬本番の感じです。体調管理に十分注意してまずは4日間休まず試験に臨むこと。「1年間しっかり頑張れた」という思いをもって、年末年始が過ごせるといいですね。

■チームOGからのメッセージ（続き）

進路だより 24号で掲載したSさんのメッセージの続編です。

2. 大学生活

サークルも何個か入っていますが、一番ウェイトを占めているのは吹奏楽団で、高校から続けているクラリネットを担当しています。インカレといって他大学から来ている人も多いので、交友関係も広がります。また、農ゼミという農学部っぽいサークルがいくつかあり、例えば養蜂サークルやMOWゼミ(牛の世話などをします)、ミニホースの会など個性的なもの勢揃いです。私は耕地の会という農ゼミに入っていて、学外の畑で野菜の播種から収穫まで自分たちで行います。夏は収穫したスイカでスイカ割りをしたり、冬はサツマイモで芋きんづばをつくって学祭で販売したりします。農学部ならではの経験ができ、とても充実しています。

また、空き時間に友達とカフェに行ったり、一緒に夜ご飯を作ってお泊まり会をしたり、学科で花火大会をしたりと、楽しいことがたくさんできます！夏休みもとても長いので、旅行に行ったりサークルの合宿に参加したりバイトを頑張ったりといろいろなことができます。

3. この時期の受験勉強について

去年のこの時期を思い返すと、大学別模試に向けて二次の勉強をガンガンやっていた記憶と、「自分の努力次第で憧れの志望校に合格できるかもしれないのかふふふ、よし頑張ろう」と勝手にニヤニヤしていた記憶があります。この時期の勉強に関しては、模試の判定に振り回されないこと、添削をうまく活用すること、理科にびしびし取り組むことなどを意識していました。

私は英語が得意だったので、英語はとにかく志望校の過去問を、一日一大問（要約、英作文など）ときめて添削していただいていたと思います。結果的に11月の模試では英語の成績が夏に比べ伸びたので効果的だったと思います。数学は、苦手だからこそできる問題を見極めてきちんと完了させられるようになることを目指して、過去問の添削指導を受けていました。そして並行して、解き慣れた問題集「スタンダード」「オリジナルスタンダード」を繰り返し解いて苦手意識をなくそうとしていました。

次に理科についてですが、演習量を確保するために重問を解きまくってました。理科はやればやるだけ成果が出る科目だと思うので、妥協せずガツガツ自分の愛用問題集を何度も繰り返すと良いと思います。

地理の共テ模試で点がとれず悩んでいる人も多いと思いますが、地理は解説を読むのがとても有効でした。新しい問題集には手を出さず、ウィニングコンパスの知識は完璧にした上で演習問題を繰り返し解き、解説をかなり読み込んでいました。解くときに、解説に載っている補助線をまねして引いてみたり、ポイントを丸で囲ってみたりしているうちに、だんだんと解けるようになりました。私はあまり地理には時間を割けなかったので、電車の中でよく取り組んでいました。

模試の判定には、「気にしないなんて無理!!!」という人もいると思いますが、そんなときは自分に言い聞かせましょう。本番の合否を決めるのは、模試を受けたときの自分ではないですよ。本番までにやりたいと思っていること、やるべきことが全部終わっているわけでもないと思います。つらいときはつらいって言って良いし、焦って頑張れないときは頑張れないって周りにはきだしても良いと思います。そうしながらでも、自分を信じて目の前のことをコツコツひとつひとつ積み上げていくのが一番大事で、そうすれば着実に志望校に近づいていくと思います。私は結果的に前期では、数点差で不合格となってしまいました。結局、合格するかどうかは、数点を争う戦いなんです、本当に。焦る必要は全くないけど、今の努力がその数点を埋めているのだと信じて、自分を信じて進んでいってほしいです。

また、メンタルを保つコツとしては、毎日できなかったことを振り返るのではなく、今日はこれができるようになった、今日はこれをやり終わった、と「できた」を振り返ると良いのではないのでしょうか。この時期は周りと比べて、あれもできてないこれもできてないと混乱しがちですが、わたしはそれを防ぐために、いつもベクトルを自分に向けて、できるようになったことを数えて自己肯定感をあげていました。

最後はとても主観的な内容になってしまいすみません。うまく言葉にできないけど、最後に伝えたいのは、納得できる未来になるかどうかは自分次第だということです。今は終わりのないトンネルの中にいるような気分かもしれませんが、頑張った先には必ずゴールがあります。私も今大学に通ってみて、あのとき受験勉強頑張ってよかったなと心から感じますし、全力で努力したからこそ農工大でも頑張れて楽しめているんだろうなと思います。皆さんの努力が実を結ぶよう、心から応援しています。